

# 第1回東京都がん対策推進協議会 議事要旨

## 1 日時及び場所

平成19年5月28日(月) 午後3時30分から5時10分まで  
都庁第一本庁舎33階N6会議室

## 2 議事次第

- (1) 東京都がん対策推進計画の策定及びスケジュールについて
- (2) 東京都のがんの現状とこれまでの取組について
- (3) 検討項目について
- (4) その他

## 3 検討内容及び主な意見等

- (1) 東京都がん対策推進計画の策定及びスケジュールについて
  - ・本計画は、がん対策基本法の趣旨を踏まえ、がんの予防から治療及び療養生活の質の向上に至るまでの総合的な計画として策定するものであることを説明。
  - ・計画の期間と策定期間、策定方法について説明。

### 【質疑応答】

質疑：計画の進捗管理については、本協議会も係わっていくことになるのか。

応答：協議会の係わり方については、今後検討する。

- (2) 東京都のがんの現状とこれまでの取組について

- ・死因の現状、がん死亡の状況、検診の受診率、がんの推計患者数等東京都のがんの現状について説明。
- ・東京都健康推進プラン2-1及び東京都保健医療計画に基づく、東京都のこれまでの取組について説明

### 【質疑応答】

質疑：年齢調整死亡率について、国においては減少傾向が続いているが、都においてはほぼ横ばいである。このことについてどう分析をされているか。年齢調整死亡率は全国と比較してどうか。また、検診受診率については区市町村の受診率が示されているが、職域なども含めて検討すべきと思うがいかがか。

応答：次回協議会において正確な数値とともに回答させていただく。

質疑：地域がん登録の取組状況はいかがか。

応答：都では実施していないが、課題等について内部で整理中である。考え方としては、院内がん登録の充実を前提に整理しているところである。

質疑：放射線治療、化学療法の人材育成について、これまでどのような取組をしてきたか。

応答：これまで具体的な取組はなく、今後どのような取組をすべきかを協議会においてご議論いただきたい。

### 【意見】

- ・ターミナル・ケアという用語は、診断の初期から緩和ケアが必要という流れから考えると、緩和ケアとしたほうがよいのではないか。
- ・検診受診率は、死亡率の削減にも係わるものである。受診率向上にむけた取組を支える仕組みが求められているのではないか。

### (3) 検討項目について

- ・ がん予防・早期発見対策の推進、 情報収集提供体制の整備、 がん医療水準の向上、 ターミナル・ケア対策の充実という4項目を柱に計画を構成していく旨説明。

#### 【意見】

- ・ 検診について、検診をやってもらっばなしということが問題。事後調査として、精密検査の受診率の把握等にも触れてはいかがか。
- ・ 地域の開業医の中にもがんに対するエキスパートが増えてきている。これらを活用することにより、がんの治療や検診受診率の向上につながるのではないか。
- ・ がん予防について、若い世代に対する普及啓発が必要でないか。また講習会などを行うのはどうか。
- ・ 国も計画において数値目標を示していることもあり、都の計画においても数値目標を立て、アウトプットを出していくのが大事ではないか。
- ・ 区部と市町村部については、検診や医療機関などかなり状況が異なっている。区市町村に対するがん予防の推進の支援という観点からも、市町村部についてはさらなる支援が必要である。
- ・ がん対策を進める上では、財政的な配慮が求められる。本計画においても予算についての一文を加える必要がある。
- ・ 議論を進める上で、例えばターミナル・ケアについてであれば東京都の世帯構成だとか民間のサポート資源というように、その背景と絡め合わせて検討していく必要がある。
- ・ 検診の精度管理の取り組みが必要ではないか。
- ・ 早期発見対策の推進について、発見率の向上や早期がんの割合という議論でなく、検診対策の充実など、がんの死亡率減少という観点からの議論が必要。